

市長杯争奪大会事業

[342]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0101	実施計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	スポーツ活動の参加促進	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	体育協会加盟団体	市体育協会が主催する市長杯争奪大会に関し、優秀な成績を収めたチーム(個人含む)に賞状・記念品の贈呈を行う。 ・市長杯...尾張旭市長杯交付要項に基づく ・市長杯レプリカ...尾張旭市長杯レプリカ交付要項に基づく <事務>各連盟からの交付申請書を受付 要項に基づき決裁 賞状・記念品の用意 各連盟からの実績報告書を受付
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
日頃の練習の成果をたたえることで、各種目の技術向上が図られるとともに、体育協会の発展により市のスポーツ振興が促進する。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	市長杯争奪大会の開催数	回	16	14	15	16
成果指標	市長杯争奪大会の参加連盟数	団体	16	14	15	16
	市長杯争奪大会の参加者数	人	3,251	3,268	3,000	3,406
事業費 計			117	118	121	116
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	117	118	121

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)市長杯争奪大会の参加連盟数・参加者数ともに増加している。 (原因)参加者数は406人増加しているが、大きな要因があったわけではなく、参加者が微増した競技が多かったことが原因と考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

レクリエーションスポーツ運営事業

[343]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業 コード	26-0102	実施 計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	01	スポーツ活動の参加促進	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業 目的 と 概要 (30 年度 分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(在住・在勤・在学者)	平成29年度から「ウォーキングイベント運営事業」「みんなのラジオ体操会実施事業」と統合 市民が身近に、気軽にスポーツにふれあえるよう、各事業を開催する。 ・ニュースポーツ体験会(ほぼ毎月開催) 開催案内を広報やHPに掲載するとともに、小学校等へチラシを配布し、市民に周知する。また、小学校以外の会場でも開催し、活動場所を増やすことにより、参加しやすい環境作りを行う。 ・軽々楽々スポーツ(随時派遣) 地域の各種団体(自治会・町内会・子ども会等)が文化スポーツ課に指導者派遣について要望する(スポーツ推進委員派遣依頼書を提出)。 ・ラジオ体操講習会(年3回開催) 体操の正しい動作を身につけ、健康づくりが日常的に展開されるよう推進する。 ・ウォーキングイベント(あさぴースマイルウォーキング、あさひ軽々楽々ウォーキング) イベント部会(スポーツ推進委員で構成)が中心となり、コース設定及び運営等を企画する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動 指標	イベントの総開催数 (ニュースポーツ体験会等の開催回数)	回	31<11>	27	30	35
	(スポーツ推進委員の派遣回数)	回	<15>			
成果 指標	イベントの総参加者数 (ニュースポーツ体験会等の参加者数)	人	2724<720>	3,421	2,900	3,850
	(スポーツ推進委員派遣事業への参加者数)	人	<1286>			
事業費 計			204	296	372	314
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	204	296	372

H30年度実績の評価

成果 実績 評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 成果指標Cについては、H29実績とH30実績を比較すると429人増加している。 (原因) 保育園への周知をするなど周知方法を見直したことにより市民祭での参加者が190人増加し、またスポーツ推進委員の活動が地域に根付いてきたことにより派遣回数が8回増加し、軽々楽々スポーツへの参加者が108人増加したことが原因であると考えられる。
----------------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施 取組 方針 実績 評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市民体育大会運営事業

[345]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0104	実施計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	スポーツ活動の参加促進	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 市体育協会へ市民体育大会(体育・ジョギング・ゴルフ)の運営委託を行う。また、体育協会の会議(常任理事・理事・各大会部会)等に出席し、大会の企画・運営方法等について意見交換を行い、運営のサポートをする。 体育大会 準備開始(前年度1月～) 大会期間(5月中旬～10月中旬) 種目数(23種目) 部会回数(年3回) ゴルフ大会 準備開始(6月～) 大会日(10月中旬) 実行委員会開催回数(年3回) ジョギング大会 準備開始(9月～) 大会日(翌年1月最終日曜日) 部会回数(年4回)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	多くの市民がスポーツに親しみ、生きがい・健康づくりに取り組む		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	種目数(体育大会各競技会、ジョギング、ゴルフ)	種目	24	25	27	22
成果指標	大会参加者数	人	7,106	6,984	7,800	6,650
事業費 計			3,630	3,630	3,630	3,630
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,630	3,630	3,630

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 市民体育大会の参加者数はH29実績とH30実績を比較すると4.8%低下した。</p> <p>(原因) 夏の猛暑の影響により、中止した種目等があったためと思われる。</p>
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

スポーツ推進委員事業

[359]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0201	実施計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	スポーツ団体・指導者の育成	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(在住・在勤・在学者)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員定例会において、スポーツ振興に関する協議を行い、各種事務事業を企画立案及び運営する。スポーツ推進委員：20名、全体会を年に6回開催する。 ・愛知県スポーツ推進委員連絡協議会、愛日地区スポーツ推進委員連絡協議会等の各種研修会・研究大会等に出席し、知識、技能の向上を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数年度は改選の年に当たる。 ・平成26年度、東海四県スポーツ推進委員研究大会にて、尾張旭市の取り組みを発表した(輪番制)。 <p>平成23年度より 24-0303 「スポーツ推進委員関係負担金」事業を統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県スポーツ推進委員連絡協議会 310円×スポーツ推進委員数+人口×0.1 ・愛日地区スポーツ推進委員連絡協議会 一律10,000円

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	部会・全体会の開催回数	回	26	27	25	27
成果指標	地域主催事業への委員派遣回数	回	15	11	15	19
事業費 計			1,213	1,222	1,303	1,243
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		1,213	1,222	1,303

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 成果指標Cについては、H29実績とH30実績を比較すると8回増加している。</p> <p>(原因) ニュースポーツ体験会や軽々楽々スポーツなど、スポーツ推進委員の活動が地域に根付いてきたためと思われる。</p>
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

社会体育振興事業

[360]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0202	実施計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	スポーツ団体・指導者の育成	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	平成26年度より、全国大会等出場者に対し、市から直接激励費を交付する。また、社会体育振興を図るため、市体育協会に各種事業の運営委託を行い、体育協会の会議(常任理事・理事・各大会部会)等で委託事業について意見交換し、事業運営のサポートをする。 スポーツ指導者育成事業 スポーツ活動を推進する指導者の育成及び資質向上を図る。 少年スポーツ育成事業 児童等の健康の保持増進と体力の向上を図るため、体育・スポーツ活動を推進する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	スポーツ大会選手派遣事業 競技力向上等を図るため、優秀な成績を収めた選手及びチームを、愛知スポレク等の大会へ派遣し、その費用の一部を助成する。 愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会事業 「愛知万博」メモリアルイベントを通じ次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内各市町村の交流、県民スポーツの振興を目的として実施されるこの駅伝大会に代表選手を選出し、大会に参加する。
	生きがい・健康・体力づくり、競技力向上など様々な目的でスポーツを行う市民が安全に、安心して活動できるようになる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	育成事業実施スポーツ団体数	団体	18	20	20	20
成果指標	育成事業参加者数	人	6,861	6,542	7,000	6,752
	全国大会選手派遣数	人	89	92	90	85
事業費 計			2,610	4,016	2,660	2,370
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,610	4,016	2,660

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 育成事業参加者数6,542人でH28年度よりも319人減少している(指導者育成事業の参加者数3,255人で昨年度より188人増加。少年スポーツ育成事業は参加者数は3,287人で昨年度より507人減少)。また、全国大会選手派遣数は昨年度より3人増加し92名となっている。 (原因) 少年スポーツ育成事業でH28に開催した大型事業(軟式野球のGCTV杯学童交流大会)をH29年度は開催しなかったため参加者数が減少している。また、全国大会選手派遣数は、広報や体育協会への呼びかけにより制度の認知が進んだため増加したと考える。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

体育協会支援事業

[362]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0203	実施計画
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	スポーツ団体・指導者の育成	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	体育協会(加盟競技団体)	より多くの市民が自らスポーツに取り組めるよう、社会体育の普及振興、競技力向上と健全なアマチュアスポーツの普及を図るための各種事業を推進する体育協会へ補助を行う。 平成24年度 登録団体数:21競技団体 会員数:5,574人 平成25年度 登録団体数:21競技団体 会員数:5,580人 平成26年度 登録団体数:21競技団体 会員数:5,340人 平成27年度 登録団体数:20競技団体 会員数:5,071人 平成28年度 登録団体数:19競技団体 会員数:5,089人 平成29年度 登録団体数:20競技団体 会員数:5,096人 平成30年度 登録団体数:20競技団体 会員数:4,950人 (クレール射撃協会...平成27年度未脱退、平成29年度再加盟)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・年度当初に体育協会より補助金交付申請書を受領する。 ・尾張旭市体育協会活動費補助金要綱により内容等を審査し、交付決定後補助金を交付する。 ・事業完了後、事業実績報告書の提出を受ける。 ・事業実績報告書の審査を行い、補助金確定通知を行う。
	競技力向上を目指す市民の活動の場が確保され、参加する市民が増加する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	補助金額	円	2,340	2,340	2,340	2,340
成果指標	体育協会会員数	人	5,089	5,096	5,300	4,950
	各競技団体の指導者育成事業・少年スポーツ育成事業数	事業	83	91	100	
事業費 計			2,340	2,340	2,340	2,340
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		2,340	2,340	2,340	2,340

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 体育協会会員数はH28年度に比べH29年度は7人増加している。また、育成事業数はH28年度に比べH29年度は8事業増加している。</p> <p>(原因) 会員数については、H29年度にクレール射撃協会が新たに体育協会に加入したため増加した。また、育成事業数については、ソフトボール連盟が4事業、弓道連盟が3事業、ビーチボール連盟が2事業、空手道連盟が1事業増加したが、その他団体で2事業減少したため、合計で8事業増加した。</p>
--------	---	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

地域密着型スポーツ推進事業

[363]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0204	実施計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	スポーツ団体・指導者の育成	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	地域住民	<p><地域密着型スポーツ> 地域の学校や各種公共施設などを利用し、地域住民が身近にスポーツ活動ができるようにする取組み。国の提唱する「総合型地域スポーツクラブ」という地域振興の手段のひとつ。(2010年までに各地域にひとつ以上のクラブをつくる、という指導があった。)スポーツの種目は限定しない。</p> <p>平成18年度末に設立した「スポーツクラブあさびー西」(平成22年度から「スポーツクラブあさびー」に名称変更)の自主的・主体的な事業運営の定着に向けて様々な支援を行う。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

子どもから高齢者、障がいのある人を含めた多くの地域住民が、日常的にスポーツ活動を行う場として期待される総合型地域スポーツクラブを利用し、スポーツに親しむ市民が増加している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	スポーツクラブあさびープログラム数	種目	16	14	17	15
	スポーツクラブあさびー役員会の開催回数	回	5	4	5	4
成果指標	満18歳以上の週1回以上のスポーツ実施率	%	-	46.8	50	58.0
	スポーツクラブあさびー会員数	人	291	308	300	350
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 満18歳以上の週1回以上のスポーツ実施率は11.2%上昇し、58.0%となった。特に、70歳以上の市民については、実施率が70%以上となっている。スポーツクラブあさびー会員数は昨年度実績より42名増加している。</p> <p>(原因) 週1回以上のスポーツ実施率を算定するに当たり、設問の説明として、気軽に行うことができる「散歩、ぶらぶら歩き」を国の基準に合わせて追加したため、数値が大幅に上昇したものと考えられる。</p>
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育施設開放事業

[346]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0301	実施計画
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	スポーツ活動の環境整備	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民(住民票登録者)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、利用者が気軽に利用できる環境が提供されている。	学校の体育施設を開放し、生涯スポーツの活動を支援する。 平成26年度から、施設利用の公平性、受益者負担、維持管理に係る財源確保の点から使用料金を有料とした。また、冬期夜間の使用を停止していた中学校運動場を、西中学校に限り通年開放していたが、これに加え、運動場の冬期夜間開放の拡大を図るため、平成28年度から東中学校で通年開放を実施した。 開放施設：小学校9校・中学校3校(運動場12・体育館12) 利用料金：小学校運動場 1時間 100円(午前9時～午後5時) 小学校体育館 1時間 150円(午前9時～午後5時) 1時間 300円(午後5時～午後9時) 中学校運動場 2時間 7,300円(午後7時～午後9時) 全面 中学校体育館 2時間 1,600円(午後7時～午後9時) 全面 2時間 800円(午後7時～午後9時) 片面 学校体育施設の開放を円滑に実施するため、各学校に組織されている学校体育施設開放運営委員会(小学校のみ)を有効に機能させる。 利用への事務手順：利用団体登録(文化スポーツ課) 利用申請(小学校:各運営委員会・中学校:文化スポーツ課)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	登録団体数	団体	246	276	260	336	
	学校開放利用者数	人	109,304	111,973	110,000	118,936	
成果指標	登録団体増加率(平成14年度対比)	%	182	204	195	249	
	利用者増加率(平成14年度対比)	%	132	135	130	143	
事業費 計			8,336	8,273	8,205	8,136	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		5,631	5,472	5,500	5,690
		オ 一般		2,705	2,801	2,705	2,446

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)「登録団体増加率(平成14年度対比)」は昨年度実績と比較して45.0ポイント上昇している。また、利用者増加率も登録団体増加率の上昇に伴い、8.0ポイント上昇している。 (原因)広報などでの周知のほか、利用者増加に伴う認知度の向上、平成29年度から東中学校グラウンドもナイターで利用できることになったことなどが、登録団体増加の要因となったと考えられる。
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

体育施設整備事業

[358]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0304	実施計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	スポーツ活動の環境整備	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	各体育施設(総合体育館、城山体育施設、晴丘体育施設、旭ヶ丘体育施設、南グランド、市民プール・広場、平子北グランド、平子町仮設広場)	競技の実施に支障が出るほどの不具合について、できる限り速やかに対応する。完全に対応できない場合であっても、競技が実施できるような応急処置を施し、次年度にて対応する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	また、体育施設の維持管理業務を円滑に遂行するために、優先度の高い整備改修工事から順次整備を実施していく。
	安全で快適な施設の提供ができています。施設利用者の利便性、満足度が向上している。	優先度は、各整備工事を維持管理、老朽化、緊急性の面からとらえた「管理運営面に係る評価」と快適性、安全性、利便性の面からとらえた「施設利用者に係る評価」の両面から評価する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	施設・設備の改修箇所数(工事)	箇所	3	6	5	6	
成果指標	施設、設備に関する重大な不具合件数	件	0	0	0	0	
事業費 計			12,025	102,718	1,900	2,995	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債			45,000		
		エ その他			37,740		
		オ 一般	千円	12,025	19,978	1,900	2,995

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)施設、設備に関する重大な不具合件数は発生しておらず、引き続き施設、設備の適正な維持管理に努める。 (原因)重大な不具合・事故が発生する前に施設・設備の修繕を実施することで、予防することができている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	今後の体育施設の在り方について、関係課と連携して、検討に着手します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
総合体育館に空調設備の設置を検討したが、集中審議で学校体育館の空調整備後に再度検討することとなった。			

体育施設維持管理事業

[1156]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	26-0305	実施計画
施策	06	スポーツの振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	スポーツ活動の環境整備	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>各体育施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館：アリーナ 1,363㎡ 全面、半面2、2/6面4、1/6面6、武道場(剣道・柔道)526㎡、トレーニング室 125㎡、卓球室 308㎡ 7台 ・城山テニスコート：2,739㎡ クレーコート4面 ・旭ヶ丘テニスコート：2,014㎡ ハードコート3面 ・晴丘テニスコート：3,120㎡ オムコート5面 ・城山野球場：10,734㎡(両翼90m、センター110m) 全面 夜間照明あり ・城山弓道場：697㎡ 5人立 ・旭ヶ丘運動広場：10,000㎡ 全面、半面2 ・旭ヶ丘デイキャンプ場：1,108㎡ デイキャンプ ・晴丘運動広場：10,979㎡ 全面、半面2 ・南グラウンド：20,000㎡ 全面、半面2 夜間照明あり ・市民プール・広場：50mプール：25mプール、徒渉用プール及び駐車場を利用した運動広場 ・平子北グラウンド：8,000㎡ 軟式野球(1面)ソフトボール(1面) ・平子町仮設広場：4,800㎡ ソフトボール(1面)少年野球(1面) <p>主な業務：指定管理または直営による施設の維持管理、教室の運営、トレーニング指導等を行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営が適正に行われ、体育施設を快適安全に利用することができている。 ・利用者の満足度が上昇している。 ・利用者が増加している。 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	施設・整備の改修箇所数(修繕・委託)	箇所	9	6	8	7
	開催教室数	教室	46	45	41	50
成果指標	体育施設利用者数(市民プール除く)	人	396,661	401,643	410,000	399,043
	市民プール利用者数	人	20,279	18,780	20,000	17,975
事業費 計			74,878	74,100	74,783	75,942
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	74,878	74,100	74,783

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	<p>(状況)</p> <p>体育施設(市民プール除く)利用者は昨年度実績と比べ2,600人減少、市民プール利用者は805人減少している。総計では前年度より3,405人減少している。</p> <p>(原因)</p> <p>H30計画値より低い利用者数であった理由は、平成30年3月31日を以って井田テニスコート及び井田第2テニスコートを廃止したこと、体育施設及び市民プール共に、夏季の35 を超える異常な猛暑により、利用者が減少したためと考えている。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。</p> <p>施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。</p>		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	<p>緊急性、重要性等を勘案した、施設・設備の適切な維持管理により、安全に安心して利用できる体育施設の提供に努めています。</p>		

文化スポーツ課庶務事務

[963]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-0810	実施計画	
施策	06	スポーツの振興	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>平成30年度より99-0810文化振興係庶務事務と99-0809体育係庶務事務を統合</p> <p>平成29年度は体育係庶務事務として提出 庁外文書の收受、メール整理〔紙・電子受付〕(600件*5分 50時間) 庁外文書の発送(240件*10分 40時間) 庁内文書の処理(回覧)〔回覧・閲覧 繰込〕(550件*20分 180時間) 庁内文書の処理(報告)...〔回答作成・決裁 繰込〕(200件*60分 200時間) 出張命令書の確認整理(作成 提出)(12回*240分 48時間) 課内の備品、消耗品の調達・管理(12回*120分 24時間) 財務会計事務(帳票作成 決裁 複写 繰込)(400件*15分 100時間) 課の決算予算・決算に関する事務(8時間*8日*12月 780時間) 課の行政評価・総合計画に関する事務(16時間*12月 200時間) 会議・研修会等への参加事務(13人*5回*30分 40時間) その他突発的な事項への対応(4時間*10回*12月 480時間) 負担金の額は、毎年、前年の10月1日の人口により算出</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			1,066	998		2,167
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		1,066	998	

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定